

6. 意見・要望

問33 今後、男女共同参画社会を目指していくには、どのように取り組んでいけばいいと思いますか？ ご意見、ご要望、ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

- ◆まだ世の中では育休制度の普及がなされていないのが現状だと思われます。家庭での協力はもちろんですが、会社自体がまだ取り入れられず仕方なく仕事を辞めていく人を見てきました。大手企業ではある程度認められているのですが、五泉市内の中小企業的な所では難しいでしょうか？縁故関係での勤務者が優遇されて一部の人はOKという企業も、女性も同じように仕事をこなしてもまだまだいろんな面で不利。子供を産んでも安心して仕事も続けられる、理想でしょうか？（性別不明・年齢不明）
- ◆
 - ・男女の能力にあった雇用が安定していること。
 - ・女性にしかできない出産、育休をとったあと、子どもの体調が悪くなった時の対処法が難しい。どうしても母親が職場を休まざるを得ない事。
 - ・介護は協力的ではあるが、最終的なことはすべて、女性の方が責任を負うことになり、負担が多くなる。
 - ・市政はいろいろな住民との交流を通して、元気な五泉になるよう頑張ってください。（性別不明・年齢不明）
- ◆まず上の方が意識を変えて皆の見本になれるようにする。（男性・10代）
- ◆男女それぞれの意識改革（男性・10代）
- ◆男女差別なく協力すればいいと思います。（男性・10代）
- ◆多くの市民に対し、理解と協力を促していく。高齢者や子どもなどにもわかるよう説明し、興味を持たせる。（女性・10代）
- ◆もっと平等に（女性・10代）
- ◆1人1人に敬意をもてば、男女による差など無くなると思います。（女性・10代）
- ◆男性の育児休業や介護休業を取得しやすくする事です。今の社会では男性が育児休業や介護休業を取得しようとする、他の社員や上司から遠まわしに「男は育児、介護休業を取るな」や「周りで取得しているか」などの言掛りや文句などで、男性が育児に携わる機会を奪っていると感じています。そのため、男性でも育児・介護休業を取りやすくする環境と、働いている人達の意識改革が必要だと思います。（男性・20代）

- ◆日本人の昔からの意識が変わらない以上は、よくできないと思う。これから先、若い人達に教えていくしかない。(男性・20代)
- ◆完全な平等ではなく、男女互いに優遇されるべき部分、妥協する部分をよく考え、理解し合うことが大切であり、それを理解できる機会を設けることが必要だと思う。男女で能力に差があるのは事実だが、どちらが劣っているということではなく、互いに長所・短所があり、活かすべき道が違っているのだから、全てを平等にするという方向ではいけないと思う。(男性・20代)
- ◆長い年月をかけてすっかり日本社会に定着した男性稼ぎ主モデルが、常識ではなく1つの方法となるには、さらに長い時間を要するかもしれませんが、だからこそ行政で呼びかけ続ける事が大事だと思います。もちろん市民がそれに応える事が必要不可欠という認識でいます。最終的には男女とくくるのではなく、その人個人としてそれぞれの生き方や考え方を尊重する空気になれば、きっと今よりは生きやすくなるのではないかと考えます。(女性・20代)
- ◆私の現在勤めている会社でも女性を多く採用しようという動きがあり、実際毎年女性の方のほうが多く入社されています。このように男女共同参画社会を目指す動きは身近に感じております。しかし一方では、同僚の主婦の方が最近仕事に復帰されたのですが、お子さんを預ける保育園が近くにないという理由から遠くの保育園へ預けており、その為会社へ遅れて出社なさっています。今保育園が足りてないという問題は私自身ニュースで耳にしておりましたが、実際身近にその問題に直面している方がいらっしやると、私も将来のことを考えると他人ごとではないなと感じました。保育園の数さえ足りていればこんなにも大変な思いをせずに、よりのびのびと仕事に取り組むことができると思います。このような環境をより充実したものにしてゆけたら、より目指す社会へと近づいていくのではないのでしょうか。(女性・20代)
- ◆各個人の意識づけも大切であるが、まず環境(法の整備等)から行わないといけないと思う。目に見えるものから行えば、より明確に意識、理解が得られるのではないか。(女性・20代)
- ◆今も女性だからこれをやれなどと言う事が多々あります。まず市でも仕事をする女性に対して、その人が育休を取ってその後復帰しやすい習慣(しきたり)など作って下さい。知り合いでも辞めさせられた人を知っています。市からそのような人がいたら、他の会社を紹介できる制度作ってください。(女性・20代)
- ◆女性は結婚や出産などでどうしても家庭に使う時間が増えてしまう。多少仕方がない事だと思うが、仕事をする事で家計的にもメンタル的にも女性にはプラスになると思うので、子育て中の人にとって子供を預けやすい環境づくりができてくると良いと思う。未満児の受け入れやすさ、費用に対する補助がもっとあると、なお共働きの家庭にはありがたいです。介護も同様に補助がもっとあると良いです。(女性・20代)
- ◆若い時からの教育が大事だと思います。家庭内で思いやって生活できなければ、まして社会(会社、職場)ではコミュニケーションとれずに、男女だけでなく人としても参画できないと思います。(女性・20代)

◆結婚して子供が欲しくても、低所得のため夫婦2人で働かないとやっていけない。子供が生まれても本当は子育てに時間を費やしたいが、働かざるを得ない。でも子供を預ける環境が整っていない。給料の底上げ、育児環境の整備、早急に何とかしてほしい。(女性・20代)

◆ ・「男だから」、「女なんだから」という考えをなくすことが大切。
・女は男が力仕事をするとかは良くない考えだ。男女の壁をなくすのが一番です。
(女性・20代)

◆有給休暇を取得しやすい職場の雰囲気づくりを、より推進していくといいと思います。そのためには、まず上司が率先して自ら有給を取得し、部下が取得しやすくするように配慮していかなければ、下の者は取得しにくいと思います。また、付き合い残業をさせない環境づくりも大切だと思います。そうしたON, OFFをしっかり切り替える職場はとて働きやすいし、リフレッシュもよりでき、長期的に見れば効率もよく、利益もより出る態勢であると思います。有給をとらないこと、残業してでも働いていることががんばっている評価の対象になるという古い考えを改め、より効率的に、個々人の生活の充実も重視させる職場環境づくりが大切だと思います。(女性・20代)

◆20代~くらいの女性で、生活の中で意識している人は少ないと思うし、取組を知る機会も少ないと思います。家事や子育てをしていると忙しくて、仕事をしていたらなおさらだし、主婦をサポートしてくれる制度も分からないし、五泉市は特に仕事をしていない人や専業主婦に対して風当たりが強いような気がします。

女性も仕事をするのが当たり前な風潮がある割には、正社員の求人は少なく、男性の家事への参加意識も低すぎですし、サポート体制も景気も低いので、働きたくても働けない、働くなれば家事・育児を犠牲にしないといけないようなのが現状のような気がします。女性の正社員雇用、託児所、保育士の増員、最低賃金の値上げ、パート社員等でもサポートしてもらえる場とか、いろいろあるとよいかと思います。もうすぐ結婚しますが、この先の生活を考えると頭が痛いので、とにかく女性もある程度働けるサポート制度を今より多くして欲しい。私はハンディがあるので働くことも難しく、しかし、通院や服薬による妊娠・出産によるお金も多くかかるので、人よりお金がかかるのに、働くことが困難で、大変です。地元で産婦人科(出産できる場所)もないし、男女平等とは程遠いと思います。身体的に女性の方が負担は大きいので、何もかも男女平等はどうかとも思いますし。妊娠すれば仕事もきつくなってくるのに、仕事を休むことも難しく、休むならやめなければいけないのが、パートの現実です。男性の意識、社会のサポートの強化、若い世代への情報の流し方とか、ですかね。(女性・20代)

◆男ですが、なんかイラっとするアンケートでした。男女共同ってっていますが、女性よりのアンケートですよ？仕事のできる女性は平等なんて、声あんまりでかかないし、できない人たちのたわごととしか今回のアンケートからは感ぜませぬ。まあ、がんばってください。(男性・30代)

◆このような事より独身男性が増えてきているので、お見合いパーティーなどのイベントをもっと増やしてほしい。国や地方自治体は少子化対策を色々考えているようだが、補助金がどうのこうのとかそんなことは重要ではない。出会いが無いのが一番の原因だと思う。土日は色々なイベン

トがあるので平日夜とかもやってほしい。平日休みの人は本当に出会いはない。(男性・30代)

- ◆自治体が頑張らないと、特に五泉は田舎だからやばいと思います。(男性・30代)
- ◆男女の差異の存在を認めた現実的な政策を考えるという事。差別どころではなく男女の機能は生物として違うという事。その前提を無視しては、立派な題目を並べ立てても無駄に終わると思っています。(男性・30代)
- ◆男性と女性は脳と体の構造自体違う(男性=競争、女性=協調、男性=職場でスイッチオン家庭でスイッチオフ、女性=その逆)ので一概にどうこうは言えません。また個人差もあるので尚更です。業界においても男性向き、女性向きがあるので無理に制度を作るのはナンセンスかとも思います。但し、男性=仕事、女性=家庭とか枠を外すことは必要と思います。後は、「助け合い」などの心を育てる教育サポートの場を多く作れば「セクハラ」とか「DV」とかは解消されるのではないのでしょうか? 「心が豊かな」市にして頂きたいと思います。(男性・30代)
- ◆男性の育児休業の取りやすい環境を作ることが必要だと思います。現状では女性(妻)の方が年収が多くても、男性の方が育児休業を取ることができないのが当たり前です。そういった古い考えを改めて、現代に合った社会にする必要があると思います。(男性・30代)
- ◆このアンケート自体が女性優先の思想で作られている気がする。男性の職場での差別などは細かく聞かれていない。アファーマティブアクションをするにしても、どういう状況が差別で、どういうことをすると逆差別になるのかをしっかりと議論すべきである。ゲイの人のセクハラや地位に関しては考えなくともよいのかという疑問を持った。(男性・30代)
- ◆男性・女性にはそれぞれ得手不得手、向き不向き、果たすべき役割が違うので、男女平等が良い事とは限らない。(男性・30代)
- ◆男性が育児に参画したくても、現状は育児休業を取ろうとしても会社の理解がなく、仕事をやめなければならないというところが多いと思います。女性が子育てをするもの、という固定観念を無くさないと、男女共同で取り組んでいくことは難しいと思います。(男性・30代)
- ◆お互いがお互いを尊重すべき。男性は女性になれないし、女性も男性にはなれない。男女平等ではないのだから(視点が違うのだから)ことさらに声高に言うべきではないと感じる。だからこそ、お互いが尊重し合えば、おのずと平らな社会になると思います。(男性・30代)
- ◆仕事をしていて、今は育児休業中ですが、五泉市は保育の見直しが必要だと思います。子どもがカゼで保育園をどうしても休まなきゃいけないとき、父も母も仕事の時、どうしても休めないとき、定員3名のあおぞらだけでは十分とは言えません。1か所だけ……。また、土日保育を特定の場所だけなので、増やしてほしいです。うちは共働きなうえ、平日休みなので、来年から保育園に預けて、土日は特定のところに預けるしかないのが不便です。働いている女性としては生活しにくいです。子ども手当よりも、保育の充実を実現してほしいです。(女性・30代)

- ◆年配の人の考えを改めるのは難しいと思うので、子供達に向けた取り組みに期待します。私も学校教育で教わった事が大きいと思っています。それがあったからこそそういう考えがあるんだと思ったし、成長しているんなタイプの生き方があると知っていくにつれて男女平等だけではないけれど、いろんな差別がない方が人間としてあるべき姿だと思います。ただ男女平等を訴える人の中でも、「だってしょうがないじゃないか」みたいなことを言って、せつかくの制度を台無しにしてしまう人が本当の男女平等を望むのならば、今までお互い男だから女だからと言って甘えていた部分を一切捨てる覚悟を持たなければいけないと思います。同じことをしているなら同じ報酬を、同じことができないなら同じ報酬を求めてはいけない、できない人のできない部分を手助けしてくれるしくみや施設があればできるようになるのなら、そういうものを作ってあげればいい。(女性・30代)

- ◆仕事と家庭で分けていることが間違いでは？家庭（家事）も仕事です。(女性・30代)

- ◆ある程度の年齢（男女平等ではない世代）の勉強も必要だと思う。(女性・30代)

- ◆もっとわかりやすい言葉などでいろいろ取り組んで下さい。一時保育など、働いているママや子供を一人で日中見ていて自分の病気やちょっとした時に預けられる施設が少ない気がします。女性が自立して働きやすい環境にしていきたいです。(女性・30代)

- ◆男の生き方、女の生き方、人それぞれだと思います。家事、育児の分担なども当人同士だと思います。男も女も関係なく人それぞれに当たったことをしていくのが一番だと思います。「男女共同参画社会」とか良く分からなかったりするのでそういう事を聞く TEL センターとかあれば気軽にちょっと連絡してみるのでは。すでにちゃんとしていたらすみません。(女性・30代)

- ◆働いている者として、いくら法律が変わったとしても会社内では何も変わらない。(休みの取りにくさ、子供がいる者の社会的立場) (女性・30代)

- ◆女性の能力を認め、社会にしっかり取り入れるべき。日本は「男社会」がまだまだ根強く残っている。「男が偉い」「男がいなければ」「男が働いているから生活が成り立つ」社会の細かいところは、女性の能力があるからだと思う。家庭が回るのも女性が守っているからだと思う。国のトップの考えが変わらなければ取り組みを考えても無理だと思う。(女性・30代)

- ◆職場における男女への意識が変わらない限り、何も変わらないと思う。“仕事があるから…”とって結局男性は家事・育児を後回しにするし、仕事や職場のことを理由にされると文句も言えず…。男性が育児休暇を取る日が来るとは思えない。“職場の環境”を変えることが必要なのは…。(女性・30代)

- ◆
 - ・力、体力など男女が平等なわけがなく、男女不平等で良いと思う。
 - ・“残業できないのか！”などいわれたりしたこともあったので、不平等でいい。(今は残業のあまりないところに回してもらってよかった)。私の周りは、月 70 時間以上残業が当たり前みたいな会社で困る。
 - ・男だから残業できるのが当たり前と思っている人もいるけど、皆それぞれ家庭があるのだから

ら、人間らしく働ける会社がたくさんあればいい。(女性・30代)

◆子どもを出産したら退職をすすめられた→退職 (女性・30代)

◆未満児の保育園入園人数増加

- ・職場の育児休業の義務化 (少人数の会社では、育児休業を一年とりたくてもとれません)
- ・男女とも、3歳未満の子のいる家庭は、残業をさせない。
- ・保育料 (未満児) の金額を下げる。(女性・30代)

◆現在仕事をするうえで悩まされるのが、育児休業への会社の対応です。実際私は育休を2度取りましたが、取得までには度重なる嫌味を言われたり、今までこの会社で育休を取る人なんていなかったなどと、育休を取ることへの不快感をあからさまに社長に言われ続けました。育休も産休のように、必ず取らせるといような制度に変えて、育休は必要のない人が、不必要の申請をするような形を取らない限り、20~30代の女性が安心して働けないような気がします (今は必要の人が申請をしていますが、申請することがNGの会社も多いです)。五泉市は中小企業も多く、私の勤めている会社もその一つです。大企業のように、1人欠けてもすぐに対応がきくというわけにはいかないのも分かりますが、そんな中小企業で働いて生活を成り立てている人々のためにも、育児休業 or 介護休業には、もう少しとりやすくできる環境づくりが必要かと思います。(女性・30代)

◆子育て環境の整備、介護環境の整備 (男性・40代)

◆この調査の時間と費用がもったいないと思います。税金は有意義なことに使っていただきたいと思います。(男性40代)

◆乳幼児期 (3歳まで) は母親が子供にきちんと関わられるような施策を実施する。(男性・40代)

◆各企業の社長の考え1つで決まる。法律で決まったとしても、抜け道を使っていただけだと思う。一般職員として、それに従うのが現状です。すべてにおいて、根本から見直さなければならないのでは? (男性・40代)

◆意見交換会のような場があるとよいと思います。(男性・40代)

◆男性が家事の能力を高めることが、結果的にその男性の幸福につながる。社会の前にまず家庭から、一人に負担を負わせない配慮が必要。(男性・40代)

◆個人の能力の向上、周囲の人へ気配りができること、世の中には多様な職業があり、多様な生活があり、多様な人がいる。男女の区別なく個々の能力を尊重し、協調性をもって頑張る生きていく姿勢が大切。切磋琢磨し、向上することが大切。(男性・40代)

◆子育て・介護をするには仕事を休むかやめなければいけません。生活もしなければいけません。その時の保障等があれば可能ですが・・・生活のための金銭的補償を整備しなければ、現在の社

会では男女共同・・・というのは難しいかなと思います。(男性・40代)

- ◆仕事など、離婚した場合、女一人では大変なので保障が必要(とても働きにくい)。介護など高齢者医療がまた不十分と感じている。介護のことは女性(妻)だけとか、家族だけとか、とても疲れて精神的に参ってしまう。そこらへんをよくしてほしいと思います。(女性・40代)
- ◆女性が様々な分野への進出や能力を活かしていくのは良いことだと思っている。しかし女性が進出し、男性が退いてしまうのは一番ダメな事だと思う。強い男性、それは暴力をふるうとか、セクハラ、パワハラをする男性といった意味ではなく、世の中を良くする為に何が最も良い事なのかを考えて行動してくれる男性がもっと増えて欲しいと思う。そんな男性がいないと思った時女性は自らが前に出て行こうとし、その為に家庭を守れる状態で無くなる事が多々ある。つまりもっと男性に「しっかりして下さい」と言いたい女性が進出しようとする、ヤジとばしが出る世の中。ヤジをとばすくらいならしっかり男をやって下さい。私は何から何まで男女が平等にならなくともよいと思います。平等にするべきなのであればその様に施策等を整えてから行ってほしい。(女性・40代)
- ◆長時間労働が当たり前の現在の企業の在り方を見直す。個人個人の意識改革。(女性・40代)
- ◆調査票が役に立つ事を願っています。(女性・40代)
- ◆女性が働きやすい環境が第一だと思います。産休、育児、子供が病気の時など、仕事が休みにくいと子供がなかなか産めない→子供が少なくなる、結婚も遅くなりがちになるという悪循環になると思う。実際、身近にそういう人は大勢います(子ども一人につきお金がたくさんかかるから産めない、という人が)。(女性・40代)
- ◆自分たちの周りから平等である事の実現することが人の意識を変えやすいと考えます。(女性・40代)
- ◆男女共同参画社会について以前広報に載っていましたが、あまり記憶にないです。主旨は何となく理解できますが、再度五泉市の考え、目指していく内容を知りたいです。女性が働きやすい環境作りに社会全体が努力していくことが大切になると思います。(女性・40代)
- ◆最近の男性は職場等に関して勉強が足りないように思われる(努力が足りない)。余談ですが市役所の職員の特に勉強が不足している。村松と合併して程度が下がっていると感じます。村松はまだまだ町役場の気分が抜けてないと思う。窓口対応ができていません。(女性・40代)
- ◆自治体による子育て支援策にばらつきがあるので、もっと働く女性の視点でのサービス充実をお願いしたいと思います。例えば、残業しても心配ない時間までの学童保育をしてもらえると、もっと働く女性の管理職が増えていくのではないのでしょうか？病児保育の充実も必要です。また、将来的には介護サービスの充実も必要だと思います。各世代に応じた支援制度が必要なのではないのでしょうか？(女性・40代)

- ◆男女の地位等が平等であること…望ましくはあるが、この地域では非常に難しい。年配の方々を始め、まだまだ男尊女卑、嫁が憎く、せがれがかわいい気質の色濃い五泉市&新潟県だと思います。JRが通らず、通勤にも不便な村松で、近隣の企業は数十年前の水準のお給料しか与えてくださらないため、夫一人の収入では家計が支えられず、妻が働く→働いても、男尊女卑気質の土地柄のため、家事は妻がすべてやる・・・そんな、私と同じような生活をしている人も多いと思います。この気質は相当根強く、そう簡単には変わらないと思うので、せめて夫の働く地元企業の水準UP、または働ける優良企業の誘致をしていただき、妻は関東圏の多くの主婦のように、パート程度の働きで(扶養内で)すむくらいになればいいと思います。“男女共同参画”なんて、この地域では半世紀後も難しいと思います。男が働き、女が家を守る！それでよいので、働く側の水準UPの方法を考えて欲しいです。(女性・40代)

- ◆
 - ・社会における方向性を明確に！様々な考えの人たちがいるので、明確にすることで、皆さんの考えもある程度一定方向に向いていく。
 - ・女性の社会進出も大切だが、子どもを産めるのは女性だけで、年齢にも限りがある。子どもを持つよこびも大きく、今度の社会を支えていくには子どもが大切！小さなころから子どもを育てていく重要性の教育が必要！そのうえで、男女共同参画社会の在り方を考えていただきたい。(女性・40代)

- ◆現状はまだまだ難しいと思います。年代によって考え方が違ったり、会社によっては子育て、地域活動といったことへの参加は良く思われなく、会社にマイナスとなればすべて給与に反映されてしまいます。子育て家庭では、厳しい世の中、いくら節約しても、出費の方が多く、苦勞しています。夢のようなお話ですが、世間はそんなに甘くありません。(女性・40代)

- ◆積極的な働きがけがないかぎり、その言葉すら耳にすることは無いと思います。男女共同参画社会と言え、言葉が立派過ぎてよく分かりません。私たちのような社会の底辺で働いていると、あまり必要のないように思います。日々の生活に追われて男女共同参画社会よりも働くこと、生活でいっぱいいっぱいです。そこから何が生まれるのか、何に協力していくべきなのか、よくわかりません。バスも通らず、子どもの学校の送り迎えをする手段を必死で考える毎日の中、申し訳ないけど、取り組んでいく考えは思い浮かびません。(女性・40代)

- ◆女性が育児しながら就労できる環境づくり。子どもの急な用で発生してしまう損失(早退・欠勤等)は企業の経営者だけではなく、社員全体で互いにフォローしあえるのが良いと思います。(女性・40代)

- ◆突飛の人材の能力を見抜く力を養う。男女を比較するのではなく、男女区別なく、人間としての優秀な人材を見抜き、良い企業に発展させる。(女性・40代)

- ◆主婦なので、家庭の中から外を見ることしかできませんが、現在、どの分野で男女が同じ立場で取組んでいないのかよく分かりませんが、家庭の中において、家事や育児など最近では男性も積極的に参加しているように思います。町でも姿を見かけるし、育メンパパもたくさんいますね。男の人と女の人の違いはやっぱり体力的にはあって、力仕事は男性が優位でしょうし、女性は子供を産む体のつくりになっています。最近は保育園など小さい子供を預けて働ける場所が充実し

ているので、産後でも仕事に復帰しやすい環境も整ってきています。が、やっぱり子供は母親の愛情が必要です。仕事が休みの日は疲れているから寝て過ごす、という人は少ないでしょうが、子どもが小さいうちは、子育てを優先にしたライフスタイルがとれるような環境が良いと思います。子どもは地域の宝、社会の宝、その子の将来を見据えて、大事な子育てをできるように一番考えて欲しいです。(女性・40代)

- ◆国策として行うだけでなく地域に根差した活動が必要だと思う。ひいては個人としてどうすれば良いか地域に相談窓口があれば良い。(女性・40代)
- ◆市役所がもっと積極的に動いてほしい。(男性・50代)
- ◆目立つ場所、市役所入口、公的施設の入り口などに垂れ幕などで目的内容などをアピールする、市民に知ってもらうこと。広報カーなどで呼びかける。(男性・50代)
- ◆言動の過ぎた使用で、セクハラとか、しついでゲンコツが暴力とか過ぎてはいけない事ばかりの世間一般、児童教育の中での道徳教育が少々おろそかになっているのでは。このアンケートも言動を理解できない文明もあるかと。自分だけの世界でなく他の人が見てもどんな人が読んでもわかる様な思いやりのある文章、人間を作る社会、世間が必要なのではないか。大正時代から昭和にかけての教育は厳しいが、命の大切さも教育されてきたように思える日本の文化そのものがおかしくなって来ているのでは？(男性・50代)
- ◆女性の市会議員を増やしてもらい、意見や行動活動などに注目したい。(男性・50代)
- ◆仕事に取り組めるため家庭での介護や育児の問題解決がスムーズにできるよう相談窓口を充実してもらいたい。(男性・50代)
- ◆男女とも、家事育児の場面で協力して常にフォローし合うような意識を持つ事が出来なければ、平等な生活はできにくいと思う。「いいよやっておくから」というような意識を普通に持てるような啓発を積極的に行っていないと、難しい言葉や制度をたくさん作ってもなかなか進むものではないと思う。(男性・50代)
- ◆共同という言葉は、同じことを行うという事ではなく、同じ目標に向けてそれぞれが相手を思いやり家庭内の事、仕事などを分担することだと思います。(男性・50代)
- ◆社会的なバックアップとしては、左頁の項目は重要であると考えますがこれはあくまで受け身の。男性中心の社会の一翼を担っていることを強く意識して行動する必要があるのではないかと。そしてその行動を正当に評価できる社会でありたい。(男性・50代)
- ◆市内のみに限らず経済的な生活基盤のもろさから家庭が荒れ離婚、児童虐待、介護放棄に結び付いている事案が多いと思う。就労場所や就労の機会を増やす努力を更に自治体が図ることで、自然に男女間の社会格差は無くなると思う。(男性・50代)

- ◆男女共同参画社会の到達点、メリットを分かりやすく、具体的に示し、取り組みへの意欲を喚起することが必要。(男性・50代)
- ◆少子高齢化に新卒者の都市流出、五泉市に於いても積極的に企業の誘致活動を行って働き世代が家庭に縛られることが少なくなるよう、社会へ出て活性化されるよう、女性の労働力を必要とされる活動を行って下さい。(男性・50代)
- ◆急に意識が変わったりする事も無いと思いますので、ちょっとずつ変わっていけばよいと思う。何かと大変でしょうが、がんばりましょう。(男性・50代)
- ◆現実には厳しい。いなかには特に。(男性・50代)
- ◆男女ともに固定観念を捨てて、多様な価値観、生き方で他者を認め、意見を認め、より良い平等な社会を目指してゆく。(男性・50代)
- ◆とりあえず男女問わず共同参画社会を進めてみてはいかがでしょう！適材低所で良い人材が見つかるかもしれない！個人の意見として共同参画推進に賛成です！(男性・50代)
- ◆五泉市全体の企業の給料アップ(男性・50代)
- ◆男女共同参画会社と一言で言われてもあまり知られてないし、現実的に少し耳にした事があるだけで、実際内容を詳しく知らないのにアンケートがきてとてもとまどいました。もっと広報などに取り入れて皆さんに知ってもらった方が良いと思う。どういった活動などしているのか市政だよりなどにも見たことがない。(女性・50代)
- ◆男女平等とはいえ男らしさ、女らしさはあると思います。その個性を生かしつつ協力すべきです。学校教育から始まり大人社会が手本を示すべきと考えます。人間性を育成する教育(学校)、家庭、地域がそれぞれの役割を果たすことが必要です。(女性・50代)
- ◆まず男女共同参画という意味さえ知らない人が多いのではないかと思うので、言葉だけでなく具体的にどういう内容なのか、どういうことか教えてあげることが大事である。意識改革、制度の見直しといっても何の価値もないと考える。とにかく前述のことを周知する(市民に)、そして賛同という共通理解して具体的に進めることだと思ふ。家庭にいる人はきっとわからないと思ふ。(女性・50代)
- ◆これからは1人1人がしっかりと考えを持ち生きていけるそんな社会にしてほしい。あともうちよっと生きやすい社会になってほしい。(女性・50代)
- ◆田舎の方ではまだ家族制度の名残で男性を重んじる傾向が残っていると思います。3世代同居の場合は長男の嫁は色々なことを求められるのが現実です。もう少し時代が経過する事でこの問題はなくなっていくと思います。古い事も良い所はありますが、男女平等という点においては古い社会習慣にはないと思います。(女性・50代)

- ◆社会全体で、出産、子育て等環境を整えてほしい。(女性・50代)
- ◆夫婦が必ずしも家事、仕事、育児を平等にする必要はない。夫婦単位で分担を個々に決め負担が平等になれば良いと思う。性が違うのだから得意分野と苦手分野があるのが当たり前、トータル負担平等を話し合えば良い。政府が決めた平等は中小企業には当てはまらない。公務員と大企業ばかりが育児休暇を取って、中小企業は取らせる余裕もない。赤字会社の社員と赤字の国の職員とでは差があり過ぎる、男女共同参画よりも企業格差の方があり過ぎる。(女性・50代)
- ◆女性が出産、育児休暇を終えて職場復帰するとパート扱いになったり、仕事が変わっていたりという事をよく聞きます。まず、企業側の体制自体変えていかないとではないでしょうか。(女性・50代)
- ◆男は仕事、女は家事、その後女性も仕事を持つようになり、それでもさらに家事は全般を・・・これが当たり前の雰囲気でした。嫁という立場は昔から男社会に都合のよい仕組みだったように思う。どちらが家庭に貢献しているかということは推し量ることは難しく、相手の立場を理解したり、自分を表現する能力をこれからの教育に力を入れるべきだと思う。また、最低限の家庭内での個人の自立は必須だと思う。(女性・50代)
- ◆仕事はしたいです。54歳で36年勤めた会社を退職しました。すぐに次の仕事が見つかると思っていましたが、甘かったと思います。50歳半ばの女性を使ってくれるところはそうはありません。やはり、50代以上の女性を使ってくれるところは少ないです。年寄りを家に持ちながらでも、働けるところを作ってほしいと思います。“家で主婦できていいわね”なんて言われますが、働く場を探せない私は毎日焦っています。私には要望、提案は思いつきませんが、どうか皆様の意見等を聞いて、少しでも働きやすい社会を作ってください。(女性・50代)
- ◆全て自身の意識だと思う。(女性・50代)
- ◆今の若い世代は男の子でも家事がこなせる教育をされていると思う。女子の家庭科の授業が男子と同じになったので、家事らしいことは親が教えていなければできない子が多いと思う。そして結婚せず、自分の自由に使える時間を楽しみ、結婚しても給料が安いので共働きという人たちが多いので少子化になっているはず。女性だけが子育てを分担して家にいるのはおかしいかもしれないけれども、家庭で子どもを大切に思って立派に成長させる人間がいないと、暮らしが豊かになっても社会は豊かにならないと思う。男性が女性に対して思いやりを持つことも大切だけれども、女性も男性に対して思いやりを持つことが大切なはずだし、それなりに昔からみれば男性も家事に参加していると思う。相手に対する思いやりや我慢することができる忍耐力を育てる教育も大切なのではないのでしょうか。(女性・50代)
- ◆仕事内容は同じであっても(多少の違いもあるが)、大学、専門学校、正職が優遇され、資格がものをいう時代の中、資格がなくても長年の熟知した経験や、こつこつ真面目に仕事をしている人、準社員、パートにも、もっと待遇面など平等にして働くことへの意欲、喜び、活力を引き出せるような、五泉市のまちづくりをしていっていただけるよう、希望いたします。(女性・50代)

- ◆最近、女性女性という言葉をよく聞くが、それ自体が差別ではないとも、思うことがある。本当に差別がなければ、女性も男性も関係ないのではないか？（女性・50代）

- ◆社会及び一人ひとりの意識の改革が大切だと思います。（女性・50代）

- ◆男女には性差がある。男女平等の精神の元、違いを尊重できる豊かな心の持ち方が必要と思う。すべて平等ではない。生まれたときからすべての人間が平等ではない事実がある。きれい事だけで済まされないことがたくさんあると思う。女性は子供を産むという違いが一番大きい。男性は子供を産めないのだ。性差の違いはホルモンの違い。すべて平等にするという考え方が間違いではあると考えるが、ベース（基本）は平等の元、尊重し合える個々の充実した精神を養いたい。（世のすべての人々、または国家）（女性・50代）

- ◆らしさを失わないマナーを守る（女性・50代）

- ◆らしさを失わないマナーを守る（性別不明・60代）

- ◆ハローワークでの説明。勤務時間や給与等、仕事内容について十分な説明と、受け入れる社会の自覚が必要。（男性・60代）

- ◆ ①男が家でする家事を女性にかわってやる。
 ②女の人も男にたよらず生きていく。
 ③女の人の出産・・・社会の考え方を変える。
 ④男も女だからという考え方をあらためる。（男性・60代）

- ◆自身の意識改革が必要だと思う。世代差が大きく、若い人への教育や意識改革が重要である。（男性・60代）

- ◆
 - ・女性が家、家事育児、介護などに縛られ社会に出て活動できないことは、現状では事実あると思う。
 - ・家では親兄弟の意識改革も含めての啓発活動が必要と思う。育児では各地で待機児童のことが話題に上がっているが、五泉市では適しているのでしょうか？
 - ・保育時間の柔軟化対応で女性の応援する、などの社会的支援も行ってください。
 - ・介護ではこれからますます老人ホームなどの利用希望者が増えてくると思われるし、家族負担がかかる結果になるので、施設数及び勤労者数の確保に尽力してください。
 - ・女性就業における均等な機会、再就職支援、給料を含めた待遇の充実確保の支援 PR。
 （男性・60代）

- ◆60歳も過ぎ、パートで仕事を続けながら夫婦で旅行を楽しんでいます。若い時は生活のため仕事中心だったと反省しています。現在は家庭第一、町内との付き合いを重点的に生活しています。市としていろいろな年代、職種の違う人たちと会話する機会を作り、元気で明るい五泉を作ってください。（男性・60代）

- ◆給料とそれに伴う福利厚生を男と同等にしなければならない。その分時間も男と一緒にになるので確認し働けばそれなりの給料になるし休みも同等になるのでいいと思う。(男性・60代)

- ◆ 1、市役所の職員は半数以上女性にする。
2、市会議員の定数を男女別に分け男女半数ずつにして年齢制限を設け60歳以下にする。
(男性・60代)

- ◆人各々で考え方も色々です、その人たちを縛める、私も私自身まだまだ未熟者。こんな人々が生活しています。最近直ぐに自分の気持ちが整理出来ない人達が多くみられます。それで気に入らない事と行ったらすぐキレル人達多くみられます。(男性・60代)

- ◆市民(住民)への啓蒙に努め、抵抗感をなくす方策が必要。行政、住民の意識改革が重要。参画しやすい社会の構築。(男性・60代)

- ◆基本産業活動の活性化。男女ともに安心して働き続けられる労働環境を作る。生きる基盤の収入があって家事、教育、子育て、地域活動、介護等人権を尊重して男女共同参画社会が推進できると思います。(男性・60代)

- ◆男女共同参画社会と言えども身体的等の差を思い、尊重しあわなければ家庭的にも真の共同参画社会とはいえないと思います。女性には母性が最も大切。(男性・60代)

- ◆先日、私の知り合いの娘さんが職場で妊娠の報告を行ったら皆から嫌な顔をされた。多分「産休」とかに入ったらその時点で契約解除になるんだね、と言っておられました。そうなる自分たちの「マイホーム計画」も断念するしかない。ちなみに私の娘も(国内では超一流企業ですが)同じ目にあいました。結局はそういうことなんです、現実。私は現在定年退職をして自宅におりますが「衛生管理者」という国家資格を持っている手前、そういう事に無関心ではいけないと思っています。(男性・60代)

- ◆時代も変わり、男性優位の時代は過ぎ、今後はすべてのにおいて人間として男女平等の世界に取り組む時代に入っている。いかに今までの男性本位を男女平等にしていくかが問われる。早く男女平等の時代が来ることを願っている。(男性・60代)

- ◆能力のある女性の登用をもっと社会全体で積極的に推進していくことが必要かと思う!!(あらゆる社会・職場で)(男性・60代)

- ◆男女共同参画も大事だが、意識改革以前の問題として、少子化が問題となっている中、子どもを安心して産み育てられるような具体的支援体制(出産補助金、税金免除、就学支援等)を図るとともに、県内外から若い世代が五泉市に住みたい、移住したいと思わせるような財政基盤に裏打ちされた夢のある町づくりが、まず第一に必要なだと思います。このアンケートによって、五泉市の将来像がどのように変わのでしょうか?(財政的な裏付けがない限り、結局何も変わらないと思います)(男性・60代)

- ◆この件に力を入れる前に、子どもなくして未来はない。五泉地区に産科医院を作る、若者に出会いの場を作り、結婚の場を広げる。(男性・60代)
- ◆今後高齢化がさらに進むにつれ、介護休業の充実化を図っていただきたい。(男性・60代)
- ◆男女共同参画社会という問うことの今後の目標がわかりません。アンケートむずかしいです。目指していくのがよいか悪いか？そのあたりも？(男性・60代)
- ◆男女なかよく大切にしていけるのが望ましいです。(男性・60代)
- ◆男女共同参画社会は良いと思いますが、現状は少子高齢化や、独身の男性女性が多く(年齢も高いほうが多い)、最近では離婚の方が多く、特にバツイチの女性では子供の養育、家事、仕事で大変である。また親の介護という問題に直面している男性や女性の方々が居られる事を考慮したそんな男女共同参画を行政面でどの様にして行くのか？また東京等の大都会、新潟市等の都市部と比較して五泉市としての地域性(ニット関係の会社が多く、それに伴って女性の方が多数働いておられる)を考えて五泉市の行政として男女共同参画社会を推進してほしいです。(男性・60代)
- ◆義母を介護しているが、家庭内での協力、介護施設の充実を望む。(女性・60代)
- ◆子供の時から男性、女性共家事育児は平等に分担した上で、男性らしさ女性らしさを失わず教育をしてほしい。(女性・60代)
- ◆60歳を過ぎても働ける職場(少ない)作り(年齢で働けない)。現在の年金では生活していけない。(女性・60代)
- ◆今回のアンケートは69歳の私には難しすぎてわからない。空白の部分がありますお許しください。(女性・60代)
- ◆以前よりはどのような職場でも女性の進出が目立ってきましたが、それは公務員などの事であり、普通の中小企業ではまだまだ男女の不平等さがあると聞きます。やはり経営者に対しての教育も大切だと思います。(女性・60代)
- ◆女性は体力的に男性より劣ります。すべての仕事を平等に働くのは限界があります。女性の特性、能力を生かす職場環境を作った上に、女性の幹部、指導者が増えても良いと思います。其の為には女性特有の妊娠出産、育児に対する社会的保障、理解が大切。一番の問題はその三点と家事の負担を軽減が大事だと思います。私の場合は家業従事と子育て家事、介護すべてを妻(嫁)仕事として頑張ってきましたが、夫の理解と協力があったらもう少し楽にゆとりを持ち生活できたらと思います。会社員と家業従事とは立場が違うとは思いますが、世間が男女共同参画の方向に向いているのは良いことだと思います。(女性・60代)
- ◆子供のころから、そのような教育をして行けば良いと思う。(女性・60代)

- ◆私は 60 歳で、若い頃は社会全体がまだまだ男性優先でしたが、今は男女平等になっていると思います。でも組合や地域の会合などにい出すと、女性が意見を積極的に発言するといぶかしがる年配者もいます。いろいろな組織に女性の役員がもっといてもいいと思いますが、家庭との両立が難しいと思います。子供が一人前になった頃に介護が始まるので、そうなれば責任のある仕事は難しくなります。環境作りが必要だと思います。地域活動も昔はたくさんありましたが今は少なくなりました。子供から老人まで参加できるような行事があれば、私達女性も協力することがいっぱいあると思います。(女性・60代)
- ◆寿退社をした姪が2, 3ヶ月後にやはり仕事をしていたいと再就職しました。上司に出産休暇等について尋ねたところ「退社してもらおう」と言われたと姪は憤慨していました。法的変化はあっても現実の企業内制度も意識も旧態依然としています。人々の平等意識が当たり前の社会を実現するには、家庭、地域、学校、職場すべてにおいての努力が必要であり、長い年月がかかると思います。また「男女雇用機会均等法」によって家庭と仕事の両立が困難となり、総合職から一般職に移らざるを得なかった知人もいます。男女共に遅くまで残業せざるを得ず、婚活もできないのが現実。男女が互いを尊敬しあい生き生きと仕事ができ、家庭を持って生活できるようにするには、職場の人員増加、1人1人の負担の軽減、そして世代を超えた意識の改革が必要と考えます。(女性・60代)
- ◆広報をもっと活用してほしい。後援会やイベント多くしてほしい。(女性・60代)
- ◆若者の働く場所、給料の安定(女性・60代)
- ◆いまの五泉市では地域医療の充実が大切だと思います。小児科産科が少ない、これでは若い女性が子供を産みません。少子化の一番の要因だと思います。女性の健康管理や相談ができる医療機関が必要だと思います。介護問題としては、どこかの介護施設も満杯なほど入っています。入所料金も高いです。できればその家庭や介護老人に応じた介護、看護法を教えてくれる人を医療機関や施設などから、希望に応じてきてもらうなどすると家族も助かると思います。(女性・60代)
- ◆アンケートの内容に無理があるので答えかねます。(女性・60代)
- ◆
 - ・家事・育児は女性がするものと決めつけている古い考えの男性が多いので、考えをあらためてほしいと思う。
 - ・私は今、孫の子守をしています、本当は働きたいと思っている(仕事があれば)。家族は、祖母が子守をするものだと思っているのが少し悲しい。育児するには誰かが自分のしたいことを我慢しなければならぬ社会だと思う。(女性・60代)
- ◆男性も女性側に立って物事を考えて思考するよう、日常において心がけていく習慣が大切だと思います。(女性・60代)
- ◆古い考えだと思うが、男性らしさ・女性らしさが欠如しているのが根本だと思う。(女性・60代)
- ◆幅広い職場があるとよい。(女性・60代)

- ◆「男女共同参画社会」についてもっと詳しくご説明ください。これ（男女共同参画）自体、法律的なものか何であるかを知りません。よろしくお願ひします。女性自身がまだまだあまい考えをもっている人が非常に多いと思うのです。（女性・60代）
- ◆女性も男性も自由に自分の生き方を選べるようになると良いと思う。仕事や社会に参加したいという選択ができるように。一番大事なのは教育かもしれない。（女性・60代）
- ◆理想と現実はあまりにも違いすぎる世の中です。ゆとりある生活を希望するも家を持てば30～35年のローン、車をもてばローンで買う、電気製品もローン、あれもこれもローン、生活を豊かにするために人間が振り回されているこの世の中です。子どもを持てば教育費に部活動、いくらお金があれば足りるのか。ただ安定した収入の安定した企業、会社に勤めたい。五泉は地場産業である繊維産業が右肩下がりのため苦勞している人はたくさんいます。男女も働いていくために、どうするか、働きやすい環境をどうするか、早急に整備してもらいたい。心にゆとりのある生活、おもいやりのある人、礼儀正しい人、理想は遠いです。行政の努力に期待しています。（女性・60代）
- ◆長い歴史が「男女共同参画」というものを生み出しました。いつか死語にするためには、性差を認めたくらうで、お互いを尊重する能力を育む教育だと思います。妊娠、出産、子育てが安全に不安なく行われる社会があればこそ、女性はもっともっと輝けます。相手の能力を認める意識改革が進めば、共同参画なんて当たり前になるはず。でも歴史が作り上げたように、意識改革は長い年月が必要。しかし、教育を含む方針転換はすぐやれます。男性にも女性にもその勇気があれば・・・と思っています。な～んて、そんなに簡単にいきませんよね。一步一步問題提起からでしょうか。（女性・60代）
- ◆男性の意識を変えることが大事だと思います。（女性・60代）
- ◆職場の均等な待遇、育児休業。現実にはまだまだ夢。（女性・60代）
- ◆推進にあたって、もう少しその人が役職に相応しいかどうか考えた方が良いと思う。個人じゃなく公人であるということを認識させるべきだと思います。（女性・60代）
- ◆このアンケートは五泉市にはとても重要なことでしょうか。清掃は家族でやりましょう、中学生レベルです。質問外ですが。現在五泉市民がどういう声をあげているか、市長さん、役所の皆さんに把握していただきたいです。（女性・60代）
- ◆
 - 1、若い人の社会での安定職の社員への登用（派遣の廃止）
 - 2、結婚しても育児、家庭生活の家族や地域の支援、見守り
 - 3、人間は、男女とも同じ（女性から生まれていること忘れてる）。上に立つ人は、困っている小さな子供を持っている働く女性や、介護を持っている人に安心して働けるように。支援の場所、1人1人違って。ひとくくりにしないで、考えていくことが大変ですが理想で一步一步前進して。（女性・60代）

- ◆共同参画社会の実現と言葉では先走っている感じがする。現実をしっかりと把握して身近な問題から取組むことが寛容かと思います。(男性・70代)
- ◆男女共同参画社会とはどのような社会を指すのか、その方向性が具体的に示すように希望します。(男性・70代)
- ◆職場、地域(町内会毎)に男女共同参画に対する定期的な話し合い(ミーティング)からスタートすればよい。*メンバーは性別年齢を懸案の上で(男性・70代)
- ◆それなりに平等化している最近、あまりにも男女平等と過剰に意識が強過ぎるし、表面を飾り過ぎる。(男性・70代)
- ◆仕事は男性、家庭は女性主導が今までの日本の社会通念だと思いますが、それをあえてこわしてまで、共同参画社会を構築する必要はないと思います。(男性・70代)
- ◆現在、男女平等だけが前面に出て、女性が結婚しなくても生活できる社会になっているので、子どもが少数化しているのではないかと思う。結婚の重荷からより、自由に生活したいと思うのがあたりまえ。(男性・70代)
- ◆女性の出産時には男が家事を全部やる。(男性・70代)
- ◆子どもから大人まで、現在悩むことを全部(案)をだしてもらい、集約してそれらを参考にして大勢の意志を活用したらと考えます。(男性・70代)
- ◆私は3世代の家族の中で育ちました。祖父や父の生活を見ていると、炊事・洗濯・掃除・子育ては女性がするものと思っていました。今でもそう思っていますが、子どもや孫の夫婦をみたり、テレビをみたりしていると、少しずつ考え方も変わってきました。でも急に考え方は変わるものではありません。私の子どもと孫も三世代の家族で育ったので、私の生活をみているので、妻の仕事を手伝うことをためらっているようです。子どもの頃から家庭と学校で、男女共同参画社会の教育をしていくようにしなければならないと思います。(男性・70代)
- ◆(私だけかも知れませんが)男女が対等であるのは、生まれた時からそういう環境でなければ、大人になってから意識を変えるのは大変な事だと思います。女性が出産、育児その上フルタイムでの仕事となると、保育所だけでなく同居の両親や近くに住む両親たちの手助けを借りているのが現状と思われます。男性も協力しているようになってきていると思います。今の子供たちが親になる頃には計画の実現が進んでいることを期待します。(女性・70代)
- ◆ 1、部下のモチベーションを上げる一番有効な手段は褒めることです。ストレスを発散する上司も多いが不思議なもので人は成長しても周りから認められたり誰かから指摘されたりしない限り、なかなか自分の成長を実感できないと思う。部下が伸びたなと思ったら、迷わずその部分を指摘して上手に褒める。それによって部下は自ら成長認識し自信を持つようになる。

1、何年この仕事をやっている、このままだと減給だとかではなく、こんな事が続くと事務評定にいいことが書けないと行動に対して厳しい評価を下す。当社は人格の否定は絶対に法度です。

1、私は皆に守られているからです。それに皆の家庭を守っていかねばならない義務があるのです。従業員は会社を守ってくれています。笑顔で。(女性・70代)

◆70歳以上の者にとっては問いが少し違いがあるように思います。以前にもこの種の回答をしたようにも思います。この結果がどう役に立っているのかわかりませんでした。(女性・70代)

◆年代が違って今の生活は大変と思う。子供には仕事を頑張れば家族全員で協力するしかないと思いますが、老人の子育てと今の育児の差もあり、すべてが大変な時代と思います。(女性・70代)

◆市議会議員に女性議員が少ないと思います。市民生活の向上の為に又家計を預かる主婦の思いが反映する市政になるよう女性議員の数が増えるように、と思っています。(女性・70代)

◆私は現在70代で、古い考え方も知れませんが、今の時代男女共同参画は賛成ですが、女性が女として生まれて来たからには、子供を育て、家庭を守る、これが基本だと思います。その人の立場や環境、事情、いろんな面で違いますので、これは互いの理解が必要だと思います。地域社会でも男女が話し合える場所又は働く時間帯など見直して欲しいですが、男女共同参画社会目指してなかなか難しいテーマだと思います。(女性・70代)

◆今の若者に結婚してほしいです。男性の方は結婚したくないのか出来ないのか、何処へ行っても男性の嫁さん問題に困っているようですので、婚活に力を入れてほしいと思います。安心して結婚、子育ての出来る様にならないと、町も村も消えてしまいます。もっと大きな会社を誘致し、地元で働ける場所がないと、皆都会へ住み着いてしまいます。(女性・70代)

◆女性特有のきめ細やかな意見や考察力を社会に反映させる事は望ましいと思う。それに社会全体の意識改革、待遇改善など見直しをしなければなりません。その上で行政の支援、指導が必要だと思う。若い男性は結構女性の存在価値を認めている人が中高年に比べて多いような気がします。一方、女性の方も結婚、出産、家事、育児を担う役割があるという事を忘れずに仕事との両立を真面目に、真剣に考え、自分の意思をはっきりさせ、もっともっと社会にアピールして、同じ立場の女性同士連携して大きな力として発信していったらいいと思う。最後に、私は70代無造作に選出したのであれば仕方ないのですが、若い世代からの意見が多く寄せられればと願っております。(女性・70代)

◆私は75歳。高齢だからこのようなことはよくわかりません。五泉は良いところだと思っております。あまり協力できないでごめんなさい。(女性・70代)

◆過去に共働きをしてきた者です。

○事務作業なのに、男女差別があり、女性はなかなか役職に就けませんでした。実際は男性より適していると思いました。

○肉体労働については、男性が優位と思いますが、女性だからと甘えることもなく、7～8割は

できたと思います。

- 子ども2人生ましましたが、上司の目が厳しく、3人目は無理でした。
- 当時は産前産後の休暇が各6週間。産前休暇は2人とも1週間～10日前まで勤務しました。
- 現在は育休もあり、若い方々に子どもを多く産んで欲しいと願っています。資格がなくても育児のお手伝いができる近所のおばあちゃんたちを活用されたらと思います。(女性・70代)



平成 26 年度 男女共同参画に関する市民意識調査 結果報告書

平成 27 年 3 月 発行 五泉市企画政策課 男女共同参画係

〒959-1692 五泉市太田 1094 番地 1

TEL : 0250 - 43 - 3911 / FAX : 0250 - 42 - 5151